

RYUSHI vol. 7 「エーゲ文明」

Cf.) 読本 pp. 27-29

タペストリー pp.62-63

1. 地中海世界の風土と人々

○地中海世界：(1) **地中海**という交易路が結ぶ地域世界

- ・大河、肥沃な平野なし：沿岸部の都市を中心に発達
- ・(2) **地中海性気候**：夏が高温、乾燥；一部を除きやせた土壌
 - (3) **果樹栽培** ((4) **オリーブ**)、(5) **牧畜** ((6) **羊、ヤギ**) に向く穀物を交易で獲得
- ・(7) **インド＝ヨーロッパ語系** [印欧系]の人々
 - ▲(8) **ギリシア人**：(9) **バルカン半島**より南下、ギリシア本土へ定住（前 2000 頃～）
 - △ギリシア人諸派：イオニア人（アテネ、ミレトス）、アイオリス人（小アジア西岸）
ドーリア人（ペロポネソス半島、スパルタ） etc...
 - ▲（古代）イタリア人：ギリシア人と並行してイタリア半島へ
 - ▲ケルト人、ゲルマン人：ギリシア、ローマから見た異民族

2. エーゲ文明

○(10) **エーゲ文明**（前 3200 頃～）：(11) **オリエントの影響**を受けた(12) **青銅器文明**
(13) **エーゲ海**周辺

①(14) **クレタ文明**[ミノア] ((15) **前 2000-前 1400 頃**)：(16) **クレタ島**

- ・民族系統不明（非印欧系）：平和的、開放的（海洋民族）
- ・(17) **線文字 A**（未解読）を使用
- ・(18) **宗教的権威**を背景とした王権：壮大で複雑な構造の宮殿
 - ▲中心地(19) **クノッソス**（宮殿）：外壁なし（＝外敵への警戒心薄い）
 - △ミノス王：周辺に強大な海上支配を築いた最古の王
 - △巨大な(20) **貯蔵庫**：各地の生産物を集積し、再配分
 - △「迷宮[ラビュリントス]」：ギリシア神話でミノタウロスが幽閉された舞台
 - △(21) **エヴァンズ**（英）による発掘

・アカイア人（ミケーネ文明）の侵入で衰退、滅亡

②(22) **ミケーネ文明** ((23) **前 1600-前 1200 頃**)：(24) **ペロポネソス半島**

- ・(25) **アカイア人**（ギリシア人の一派）：(26) **ヒッタイト**の交易相手として文書に記録残る
- ・(27) **線文字 B**（ギリシア語）を使用：(28) **ヴェントリス**（英）により解読
 - 文明の全体像が判明

・小王国形成：(29) **ミケーネ**、(30) **ティリンス**、ピュロスなど

▲(31) **貢納王政**：地方からの貢納品を中央の宮殿に集め、再分配

……王と官僚による支配＝(32) **オリエント的専制政治**の影響

▲堅固な城塞：軍事への関心が高い（クレタ文明を滅ぼす）

- ・(33) **シュリーマン**（独）による発掘：ミケーネ、ティリンス、トロヤ

▲(34) **トロヤ**[**トロイア**]：ホメロス『イリアス』を読んだシュリーマンが実在信じて発掘

(35) **トロヤ戦争**で破壊されたとされるも事実是不明

- ・ドーリア人や(36) **「海の民」**の侵入を受け滅亡

○(37) **「暗黒時代」** [初期鉄器時代] ((38) **前 12c-前 8c**)：ミケーネ文明崩壊後；史料に乏しい

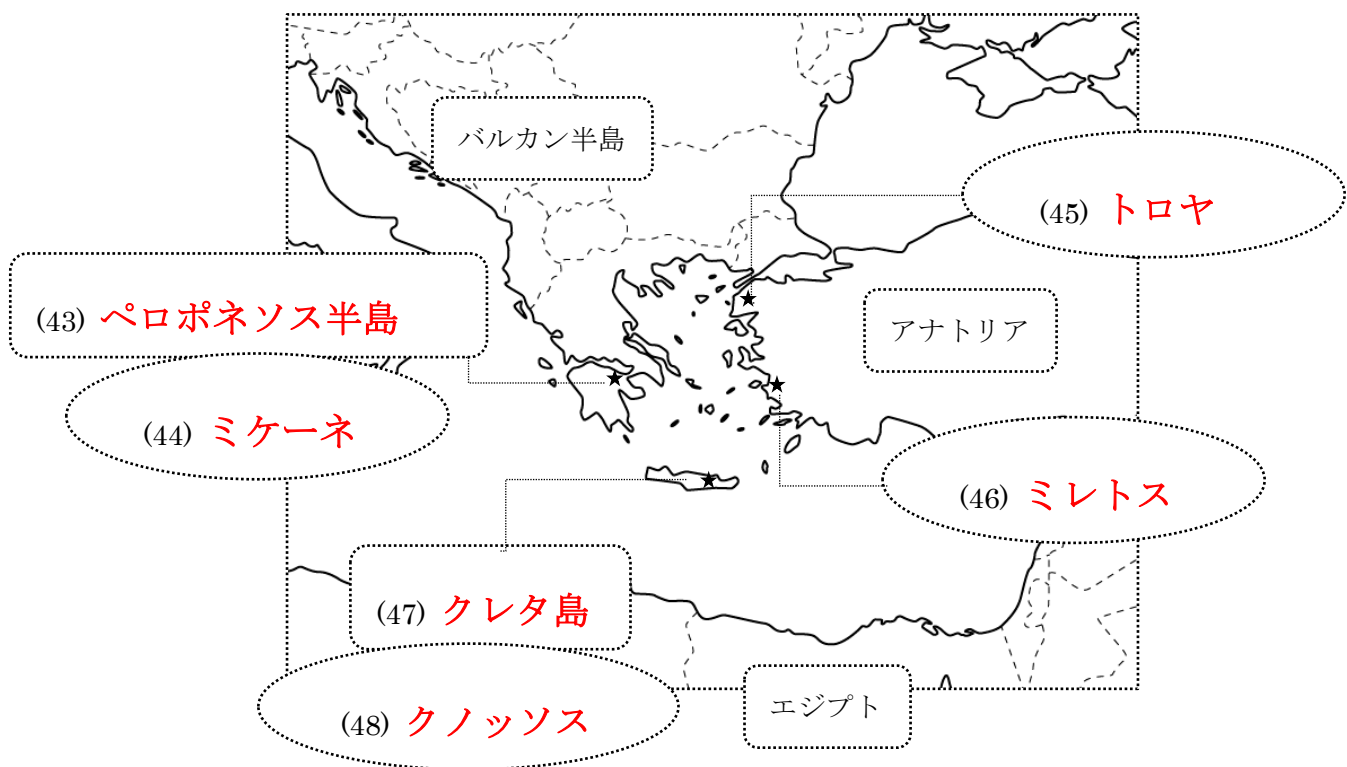
- ・人口減少：小王国の人々は各地に移住

▲東方方言群：(39) **イオニア人**、(40) **アイオリス人**→バルカン半島南部
アナトリア沿岸

▲西方方言群：(41) **ドーリア人**→バルカン半島南部、エーゲ諸島

- ・(42) **鉄器の使用開始**：アナトリアのミタンニ人、ヒッタイト人からドーリア人に伝来
→ドーリア人の定住により、ギリシアは鉄器時代へ

Check!!：東地中海・エーゲ海の古代文明



☆主要な略語一覧：国名・言語編

米：アメリカ	英：イギリス	伊：イタリア	印：インド	越：ベトナム
奥：オーストリア	豪：オーストラリア	蘭：オランダ	西：スペイン	
ソ：ソ連	中：中国	独：ドイツ	土：トルコ	仏：フランス
普：プロイセン	露：ロシア	希：ギリシャ[ギリシア]	羅：ラテン	

RYUSHI vol. 7 「エーゲ文明」

Cf.) 読本 pp. 27-29

タペストリー pp.62-63

1. 地中海世界の風土と人々

○地中海世界：(1)_____という交易路が結ぶ地域世界

・大河、肥沃な平野なし：沿岸部の都市を中心に発達

・(2)_____：夏が高温、乾燥；一部を除きやせた土壌

→(3) **果樹栽培** ((4)_____)、(5) **牧畜** ((6)_____) に向く
穀物を交易で獲得

・(7) _____[印欧系]の人々

▲(8)_____：(9)_____より南下、ギリシア本土へ定住（前 2000 頃～）

△ギリシア人諸派：イオニア人（アテネ、ミレトス）、アイオリス人（小アジア西岸）
ドーリア人（ペロポネソス半島、スパルタ） etc...

▲（古代）イタリア人：ギリシア人と並行してイタリア半島へ

▲ケルト人、ゲルマン人：ギリシア、ローマから見た異民族

2. エーゲ文明

○(10)_____（前 3200 頃～）：(11)_____の**影響**を受けた(12) _____
(13)_____周辺

①(14) _____[ミノア-] ((15) **前 2000-前 1400 頃**)：(16) _____

・民族系統不明（非印欧系）：平和的、開放的（海洋民族）

・(17)_____（未解読）を使用

・(18) **宗教的権威**を背景とした王権：壮大で複雑な構造の宮殿

▲中心地(19)_____（宮殿）：外壁なし（＝外敵への警戒心薄い）

△ミノス王：周辺に強大な海上支配を築いた最古の王

△巨大な(20)_____：各地の生産物を集積し、再配分

△「迷宮[ラビュリントス]」：ギリシア神話でミノタウロスが幽閉された舞台

△(21)_____（英）による発掘

・アカイア人（ミケーネ文明）の侵入で衰退、滅亡

②(22)_____ ((23) **前 1600-前 1200 頃**)：(24) _____

・(25)_____（ギリシア人の一派）：(26)_____の交易相手として文書に記録残る

・(27)_____（ギリシア語）を使用：(28)_____（英）により解読

→文明の全体像が判明

・小王国形成：(29)_____、(30)_____、ピュロスなど

▲(31)_____：地方からの貢納品を中央の宮殿に集め、再配分

……王と官僚による支配＝(32)_____の影響

▲堅固な城塞：軍事への関心が高い（クレタ文明を滅ぼす）

- ・(33) _____（独）による発掘：ミケーネ、ティリンス、トロヤ

▲(34) _____[トロイア]：ホメロス『イリアス』を読んだシュリーマンが実在信じて発掘

(35) _____で破壊されたとされるも事実是不明

- ・ドーリア人や(36) _____の侵入を受け滅亡

○(37) _____[初期鉄器時代] ((38) **前 12c-前 8c**)：ミケーネ文明崩壊後；史料に乏しい

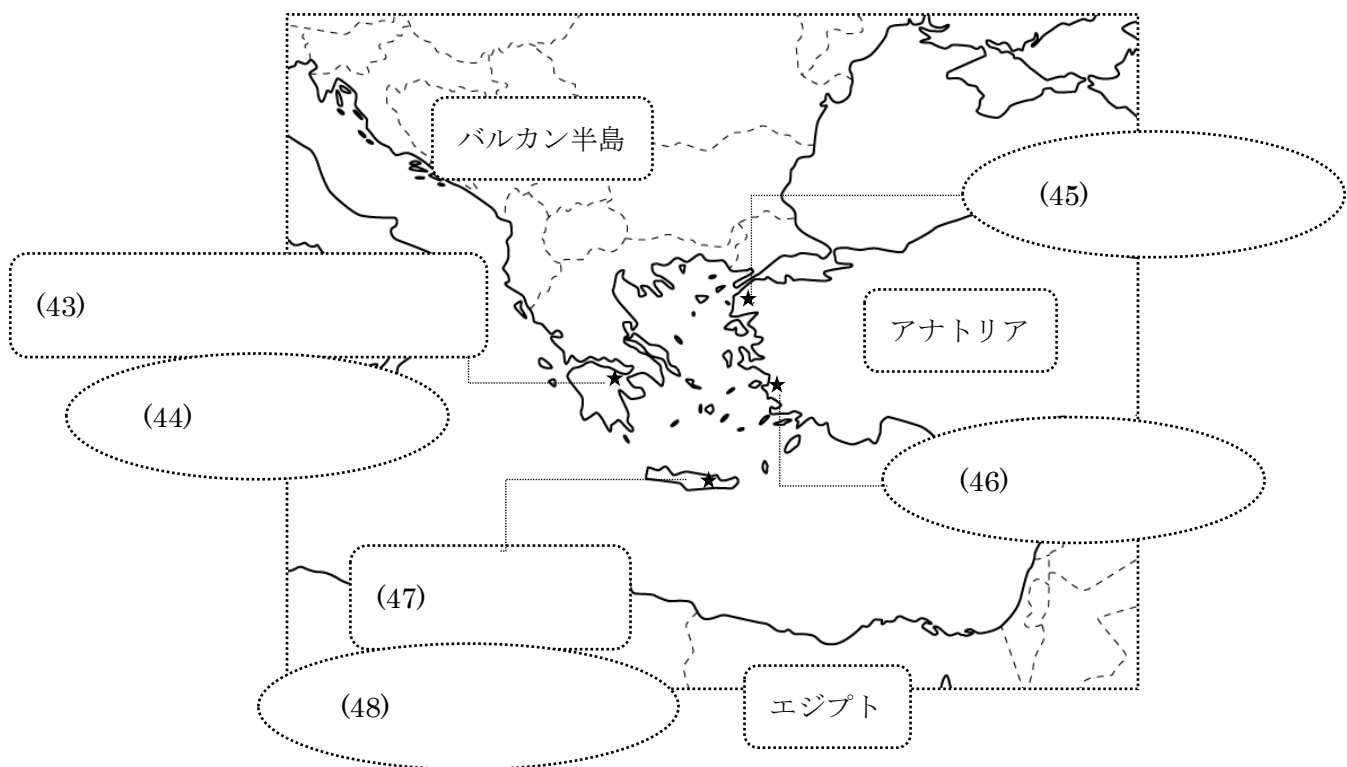
- ・人口減少：小王国の人々は各地に移住

▲東方方言群：(39) _____、(40) _____ →バルカン半島南部
アナトリア沿岸

▲西方方言群：(41) _____ →バルカン半島南部、エーゲ諸島

- ・(42) _____の**使用開始**：アナトリアのミタンニ人、ヒッタイト人からドーリア人に伝来
→ドーリア人の定住により、ギリシアは鉄器時代へ

Check!!：東地中海・エーゲ海の古代文明



☆主要な略語一覧：国名・言語編

米：アメリカ	英：イギリス	伊：イタリア	印：インド	越：ベトナム
奥：オーストリア	豪：オーストラリア	蘭：オランダ	西：スペイン	
ソ：ソ連	中：中国	独：ドイツ	土：トルコ	仏：フランス
普：プロイセン	露：ロシア	希：ギリシャ[ギリシア]	羅：ラテン	